



ぶらり社南 ～西谷町編～



③火葬場

寛保2年～昭和44年 時代の流れとともに建築物のいたみも激しく、また福井市の火葬場を利用することの方が多くなった。平成2年、町民総出で撤去し、その場に笏谷石の墓柱を建立し、その霊場としての位置を永久に保存しておくことになった。

⑤白山神社

無格社、神紋は源氏車、祭神は「伊弉諾尊」。平成2年10月神社入口のところの標柱、鳥居が今上天皇御大典記念として奉納された。正月元旦のお参り・春祭り・八朔・秋祭りなどの参拝行事を行っている。



①西谷山(俗称)古墳

八幡山西端、山頂部(標高125m)付近。西谷山2号墳は、径約24m、高さ約5mの規模。西谷山には、石のカラト(石棺)が7つあると伝えられていた。昭和58年6月に発掘されたものは、県立博物館常設展示室されている。(大正8年に一度発掘されており、その遺物の主なものは、東京国立博物館に寄贈されている)



②採石場

明治39年～43年の間、岩崎地籍(俗称イワス)の砕石が行われた。取り出した砕石は足羽川堤防の護岸工事のため、特に幸橋北岸の石材として利用されたという。そのため西谷地区から幸橋間に運送状の必要上から軽便(モロッコ)鉄道が布設された。



④金山

明治末期に「福井金山事務所」を設立し発掘を行った。山麓から直進方向(北向き)に約20m、東方向に約30m発掘している。2～3年で閉山、その後は洞穴のみが残り、太平洋戦争の折は西谷住民の防空壕として活用された。



⑦西谷南公園

⑧西谷中央公園

春には見事な桜が咲き、西谷町民の心を和ませてください。西谷中央公園では、夏には賑やかな祭りを開催しています。



西谷中央公園



西谷南公園

⑥出淵家と寺子屋跡

福井藩士出淵家四代盛賦(伝之丞)氏は、現在の大町、下筋生田、江端等に禄高知行があり、時々八幡山へ鴨などの狩りを目的に西谷の地へ来ていた。西谷住民の懇願により、子久雄氏を迎え入れ、二階建て家屋を建造した。出淵氏は寺子屋を開設し、西谷や花堂の向学の者を集めて学問教育につとめた。(初代出淵平兵衛氏は柳生但馬守宗矩の門弟であり、代々福井藩の師範役をつとめた。この出淵家の資料は福井県文書館に古文書として登録されており、閲覧する事ができる)

⑥荒川洋治の叔母宅

荒川洋治:現代詩作家・随筆家。西谷町の叔母宅に時々遊びに来ていた。
1949年福井県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。1976年「水駅」でH氏賞を受賞し、詩壇に登場。「渡世」で高見順賞、「空中の菜葉」で読売文学賞、「心理」で萩原朔太郎賞を受賞。「忘れられる過去」で講談社エッセイ賞、「文芸時評という感想」で小林秀雄賞を受賞している。



エネックス(株)